

令和5年度 上真野小学校学力向上グランドデザイン

子どもの実態

- 行事や特別活動などを通して、互いに意見を交流し合い、より良い活動を実践できるようになってきている。
- 学習で学んだことを生活の中で生かす力が弱い。
- 日常体験不足から情報が少ないために、発想や工夫をすることが苦手である。
- 家庭学習の充実が不十分である。

重点目標

『チャレンジ!!キラリと輝く
自分、友達、学校、ふるさと』
よさに気づき 伝え合い つながろう

目指す子どもの姿

- 1 互いのよさを認め、ともに学び合う子ども
- 2 学んだことを身につけ、生活の中で活用できる子ども
- 3 気づいたことを分かりやすく伝え合い学びを深める子ども

学校教育目標

- 思いやりのある子ども
- 進んで学習する子ども
- 体をきたえる子ども

保護者や教師、地域の願い

- ・ 互いに認め合って楽しく生活する子ども
- ・ 主体的・対話的に問題を解決する子供
- ・ 目標に向かって粘り強く取り組む子ども

目標達成への手だて

- 温かい人間関係づくり
- 主体的・対話的な授業の改善
- 家庭学習の習慣化
- 情報収集活動の推進

1 互いのよさを認め、ともに学び合う子ども

2 学んだことを身につけ、生活の中で活用できる子ども

3 気づいたことを伝え合い、学びを深める子ども

Plan (目標値)

- ・ Q-U 学級生活満足群
85% (年間 2回実施)

Do (具体的方法)

- ・ 特別活動を中心とした交流活動の充実
- ・ 積極的な生徒指導の推進 (自己肯定感・自己所属感・いじめ対策)

Check (評価)

- ・ 全職員による見取り
- ・ Q-Uの結果 (2回実施)

Action (改善)

- ・ 全職員による共通理解
- ・ Q-Uテストの結果の分析と活用

Plan (目標値)

- ① 市学力テスト (国・算)
全学級で前年度比UP
- ② 「進んで学習に取り組む子ども」
90%以上

Do (具体的方法)

- ・ 書く活動を取り入れ、考える力が身につく指導
- ・ 学び合いにより、協働して解決する力が身につく指導
- ・ 見方・考え方を働かせる学習の展開
- ・ 学びを実感できる授業の終末
- ・ 基礎的・基本的事項の定着
- ・ ICT機器の効果的な活用
- ・ 学習規律の定着
- ・ 家庭学習の習慣化
- ・ 読書活動の推進

Check (評価)

- ・ 授業研究を通じた助言や指導
- ・ 各種学力調査や学校評価の結果
- ・ 教育目標具現化構想の反省
- ・ 学年別学力向上プランの反省

Action (改善)

- ・ 各種学力調査の分析と活用 (陥没点の洗い出し・教材研究の見直し)
- ・ 身につけさせたい力の共通理解

Plan

- ① 表現力の育成
(聞く・話す・書く)
- ② 情報収集活動の推進

Do (具体的方法)

- ・ 言葉による見方・考え方を働かせた学習の充実
- ・ 各教科の特質に応じた言語活動の位置づけ
- ・ 学年に応じた「聞く・話す・書く」能力の育成 (適切な言語表現や根拠を明確にした表現の重点指導)
- ・ 学校図書館や新聞の計画的な利用

Check (評価)

- ・ 学習活動の中での見取り
- ・ 「書く」活動における内容把握
- ・ 教育目標具現化構想の反省

Action (改善)

- ・ 日々の学習指導